



子供が自立し

みんなの活躍で創り上げる学校



主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

民生委員さんお世話になります(4年生)

11月20日(水)、万田校区の民生委員、児童委員さんと、4年生との交流会がありました。いつも地域や学校を陰から支えていただいている方々ですが、このように、ゆっくりと交流することは、今までなかったのではないかと思います。



そこで、まずは名刺交換をしました。民生委員・児童委員の方々から名刺をいただき、子供たちも、自分で作った名刺を渡して自己紹介しました。家族のこと、地域のこと、学校のことなど、お互いを知り合う良いきっかけとなりました。次に、民生委員制度誕生の歴史について紙芝居を見ました。無報酬のボランティアだということを初めて知った子供もいたのではと思います。さらに、学んだことを確かめるクイズ大会もあり、これは大いに盛り上がりしました。最後に、子供たちからの歌のプレゼントをしました。明るく素直な歌声に感謝の気持ちが乗っかっているなあと感じました。子供たちと民生委員さんとの心の交流を確かに感じました。

有明高校のみなさんお世話になります(5年生)

5年生の体育では、野球型のスポーツとして、ティーボールを学習します。

ところが、今の子供は、野球を習っている子以外は、野球はあまり身近ではないようです。(キャッチボールもしたことがない。)

昔は、好き嫌いかかわらず、どの子も子ども会のソフトボールチームに入っていたことを考えると、確かに野球を楽しむ場がなくなっているのかもしれません。



今回11月に5回にわたり、5年生の体育の時間に、有明高校の野球部のみなさんから、ティーボールを教えてくださいました。高校生の元気よく颯爽とした姿、明るく優しい言葉かけで、5年生の子供たちは男の子も女の子も、本当に楽しそうに学習していました。

「ゴロをとるときにはね、腰を落として両手でとるんだよ。この手の形を覚えて！手の形に名前を付けよう。名前何にする？」などと声をかけると、5年生が「ゴキブリ」とか「ムカデ」とか言っています。すると、高校生が「ゴキブリはあんまりだから、ムカデにしよう」とゴロを捕るときの手の形は「ムカデ」に決定！高校生がゴロのボールを投げて、5年生がキャッチする。その時に「はい、ムカデ！」と声をかけると、5年生は、ちゃんと両手を合わせて手のひらを開き、ムカデの形でボールをとっているのです。つまらない守備の練習も、こうやればみんな笑顔で取り組みます。なんと上手な教え方でしょう。教え方のプロである私達が、高校生から教わりました。

伝えよう 荒尾の魅力! (6年生)

11月16日(土)に、荒尾教育フォーラム2024が、荒尾市文化センターで行われました。今年のテーマは「伝えよう 荒尾の魅力！」第一部は、万田小を除く市内9校の小学校が、「魅力ある修学旅行づくり」について発表しました。えっ？万田小は？・万田小は満を持して第二部に登場。「熊日電子ライブラリープロジェクトを活用した授業づくり」について、6年生が発表しました。



今年、熊日新聞社の記者の方の協力を得ながら万田坑について調べ、調べたことを新聞にまとめました。これは、万田坑ガイドをするときの原稿づくりにも役立ちましたし、作った新聞は、修学旅行先の長崎で観光客の方たちに手渡ししながら、荒尾の魅力をPRすることにも役立ちました。

これら一連の活動を、スライドにまとめたり、ステージ上で模擬万田坑ガイドをしたりしながら、約40分間の発表を行うことができました。司会の糸永アナウンサーからも、「自分たちで万田坑ガイドをしてみてもその課題を見つけ、さらに改善策を出し合ってそれを実施している。プロである私も見習わなければ。」とおっしゃっていました。